

入院診療計画書

経直腸的前立腺生検をお受けになる パス テスト001 様へ

泌尿器科 5階北病棟 病室
患者番号 0008985093

主治医氏名		印	
主治医以外の 担当者 氏名	担当医師 看護師長 管理栄養士 担当看護師	【患者または代理者同意署名】 年 月 日 氏名 *代理署名の場合 患者との続柄 ()	
病名			
症状			
手術		(あり ・ なし)	
特別な栄養管理の必要性		(あり ・ なし)	
推定入院期間	入院日検査前(月 日) 検査時間 (:)	入院日(検査後)	2日目(退院日)
注射・ 内服	なし 持参のお薬とお薬手帳を確認します。 特に先生の指示がなければ、持参して頂いたお薬は継続してお飲み頂きます。	なし 検査後より抗生剤のお薬があります。 出血の状況により止血剤を内服していただく場合もあります。	なし 検査後処方されたお薬は医師の指示があるまでは継続してください。
検査	検査の時間になりましたら声をかけますので、お部屋でお待ちください。	なし	なし 
処置	検査前に浣腸、抗生剤の筋肉注射を行います。(処置時間についてはお知らせします。) 浣腸を行った後は、3~5分程度我慢してから排便をして下さい。浣腸後トイレに行くまで看護師が付添い歩行します。気分不快やめまい等の症状があれば座った状態でナースコールでお知らせ下さい。	肛門からの出血、血便または血尿がある場合はお知らせください。	なし
教育・ 説明・ 指導	看護師が病棟の案内と検査の注意点など説明致します。検査の前に医師が検査について説明を行います。 	検査後の痛みについて説明します。 ① 痛みの種類としては肛門から器具を挿入する為「しくしくする」「うずくような」痛みや、排尿時痛が現れることがあります。 ② 痛みの程度は直後が最も強く徐々に軽減していきます。何日も続くことはありませんので安心して下さい。 ③ 痛みへの対処としては、体位の工夫や鎮痛剤の使用などの援助を行っていきますので我慢せずにお伝えください。 検査後は発熱や尿路感染予防として、水分を1L~1.5Lを目標にとるようにして下さい。	看護師より退院後の注意点についての説明を致します。 ① 定期受診を守りましょう。 ② 退院後1週間程度、尿、便の性状を確認し、出血が止まらない、もしくは増強した場合は速やかに受診してください。また、退院後2日以内に38℃を超えるような発熱が見られた場合も受診してください。 ③ 次回受診日までは、水分を1日1L~1.5Lを目標にとるようにして下さい。 ④ 便秘をしないようにバランスの良い食生活を心がけ、排便時はお腹に力を入れ過ぎないようにして下さい。
安静度	特に制限はありません。	検査後2時間はベッド上の安静を保ってください。(寝返りをうつこと、座ることは可能です。) 但し、トイレのみは歩行して構いません。気分不快時は、座ったままナースコールでお知らせください。	病院内では特に制限はありません。退院後は自転車、バイク、長時間座位でいる姿勢や遠方へのドライブは1週間は控えましょう。入浴は退院後から可能ですが、熱い湯や長時間の入浴、サウナは避けて下さい。飲酒は次回外来受診日までお控えください。
食事	特に制限はありませんが、検査の時間に応じ、ずれる可能性もあります。	特に制限はありません。	特に制限はありません。
排泄	検査前に排尿をすませて下さい。	検査後の初回排尿と排便は看護師が確認します。初回排尿は採尿カップにとり、トイレ内の「呼び出しボタン」でお知らせください。初回の排便後は流さずトイレ内の「呼び出しボタン」でお知らせください。その後の排尿、排便時でも血液の混入が見られた時は看護師にお知らせください。	なし 
清潔	特に制限はありません。	シャワー浴はできません。	出血が無ければ退院後よりシャワーは可能です。
リハビリ	なし	なし	なし
その他	なし	なし	なし

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院

平成30年 10月改訂

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地

TEL:055-273-1111(代表)